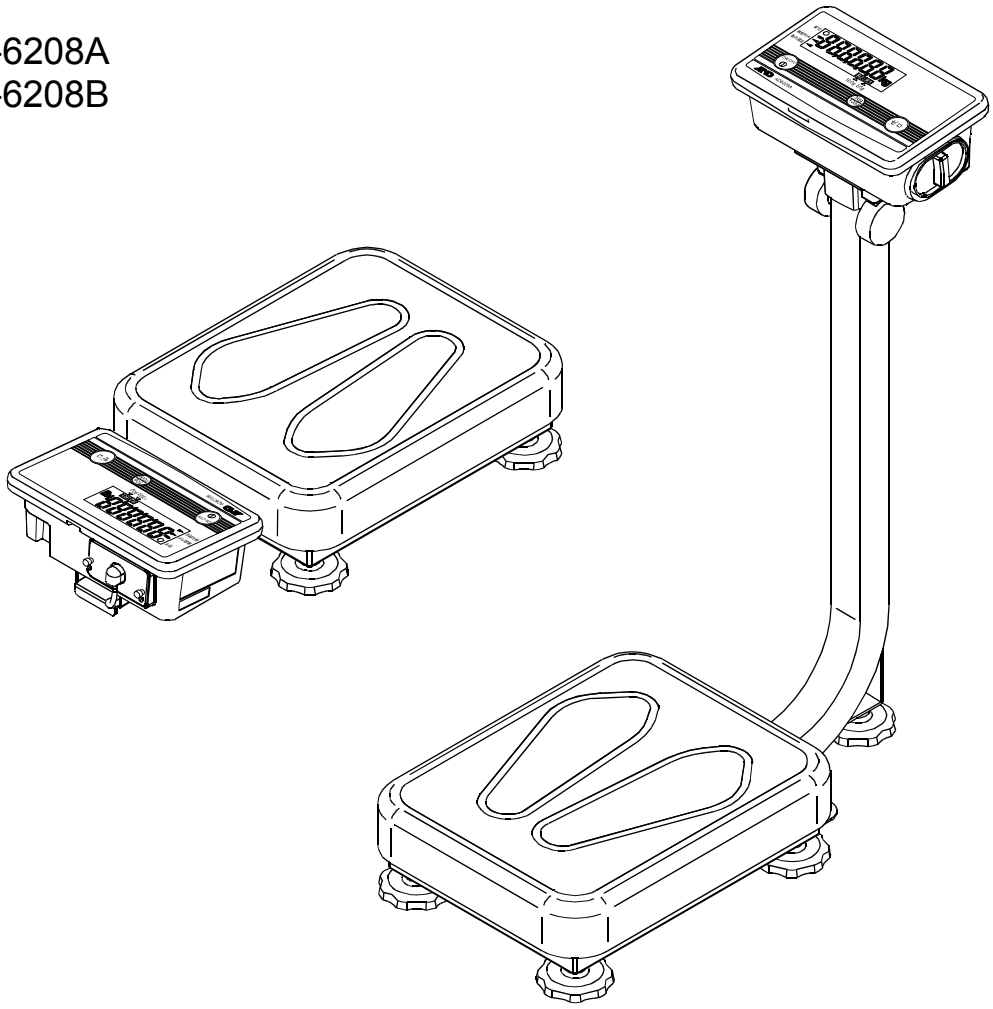
AD－6208 シリーズ

検定付き精密体重計（３級）

取扱説明書

適用機種

AD-6208A
AD-6208B



株式会社 エー・アンド・デイ

1WMPD4001056B

ご注意

（1）　本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
（2）　本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
（3）　本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
（4）　当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©　2007　株式会社　エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

目　次

1. 安全にお使いいただくために 2

1-1. 設置場所のお願い 2

1-2. 使用上のお願い 2

1-3. 使用の制限 3

2. 概要 4

3. 梱包内容 5

4. 各部名称 6

5. 組立 7

5-1. ポール付きモデル 7

5-2. ポールなしモデル 9

6. 使用前の準備 10

6-1. 設置上の注意 10

6-2. 設置 10

6-3. 電源の準備 11

7. 表示器各部の名称と機能 12

8. 使用方法 13

9. 内部設定 16

9-1. 設定方法 16

9-2. 内部設定一覧 17

10. オプション 18

10-1. FG-23 の取り付け方法 18

10-2. FG-23 RS-232C インタフェース 19

11. 保守管理 23

11-1. 保守上の注意 23

11-2. エラー表示 23

12. 仕様 24

12-1. 仕様一覧 24

12-2. 外形寸法 24

重力加速度の大きさの範囲 25

1. 安全にお使いいただくために

この商品を安全に正しく使用していただくために、事前にこの取扱説明書をお読みになり十分にご理解ください。お読みになった後はいつも大切にお手元に置いてご使用ください。

ここに表記した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表記と意味は次のようになっています。

警告サイン	内容
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- 体重計の端に乗ると転倒する恐れがあります。体重計の中央部に乗ってください。
- 体重計に飛び乗ったり、乱暴に取り扱わないでください。けがや故障の原因となります。
- 使用を開始する前に必ず本器が安全に動作することを確認してからご使用ください。なお万一異常が発見された時は速やかに使用を中止して、故障中の表示を行い弊社営業所・出張所へご連絡ください。
- 本器は改造しないでください。改造された製品については弊社はいかなる責任も負いかねます。

1-1. 設置場所のお願い

- 振動や風の影響を受けない平らな場所で、かつ本体および被測定者の重さにも耐えうる床上に設置してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 外来電源ノイズ、強力な電波、磁気等の影響を受けない所に設置してください。
- 引火、爆発する恐れのある物質の近くには設置しないでください。
- 設置場所の温度、湿度は本器の使用温湿度範囲以内にしてください。

1-2. 使用上のお願い

- ボールペン等とがったものでスイッチを押さないでください。故障の原因になります。
- 体重を測定する時は、静かに乗り、測定が終了するまで身体を動かさないでください。
- 本器は人間の体重を測定することを目的としています。それ以外の目的で使用しないでください。
- 検定付き体重計としての性能を維持するため取扱に留意してください。正しく計量するためには「使用の制限」をご確認の上ご使用ください。点検等は、お買い求めの販売店にご相談ください。

1-3. 使用の制限

・最小表示は５０ｇと１００ｇの手動切替になっています。

・検定付きの体重計の校正はユーザでは行えません。定期点検等はお買い求めの販売店にご相談ください。

・使用地域の制限

本器は検定付き計量器です。

「取引」や「証明」に使用する場合、決められた重力加速度値で使用してください。

表示部背面の銘板に記載されている重力加速度範囲内でご使用ください。

・ひょう量と最小測定量

取引または証明に使用する「ひょう量」と「最小測定量」は銘板 および 表示器 に記載されています。

「取引」とは、計量法の「有償であること無償であることを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。

「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

・定期検査（検定）

ひょう量５ｔ未満の質量計を取引や証明に使用する場合、計量法施行令第１１条により２年に１回定期検査（検定）を受けることが義務づけられています。

当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県にお問い合わせください。

「はかり」は、長期間使用していると精度のくるいを生ずることがあります。

性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、弊社にお問い合わせください。

・使用温度範囲

本器は、使用温度範囲内でご使用ください。

2. 概要

AD-6208 シリーズの検定付き精密体重計には、以下のような特長があります。

- ❑ AD-6208 シリーズには、AD-6208A と AD-6208B の２種類のモデルがあります。
  AD-6208A は、ポールを装備し表示器が見やすい構造になっております。
  AD-6208B は、持ち運びに便利なポールのない一体型構造になっております。

- ❑ 100g、50g の２通りの表示分解能を持ち、用途に応じて切り替えることができます。
  電源投入時は 50g が選択されております。

- ❑ 最小表示 100g を選択した場合はひょう量 200kg、最小表示 50g を選択した場合はひょう量 150kg となります。

- ❑ AD-6208B の表示器の取り付けは、測定者方向 または 検査者方向 に自由な変更が可能です。

- ❑ 計量値を読みやすくするため、安定マークの表示と共に計量値を固定できます。

- ❑ 耐湿性に優れた計量センサの採用によりプールサイドや更衣室等で使用できます。

- ❑ 電源は AC アダプタあるいは単 2 形乾電池を使うことができます。

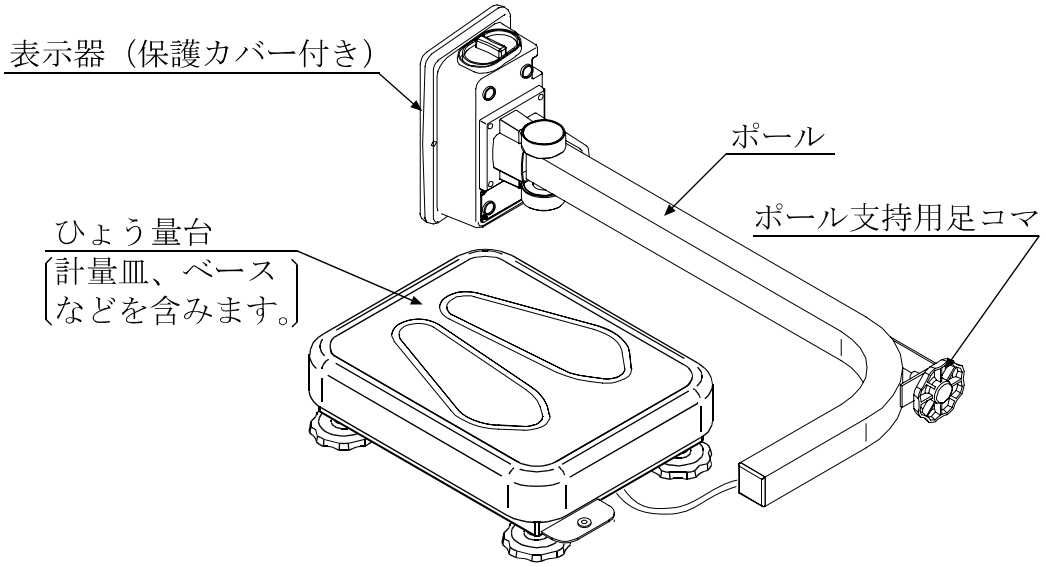
- ❑ オートパワーオフ機能で乾電池の消耗を防ぐことができます。

- ❑ オプション FG-23 の RS-232C インタフェースを使い、プリンタやパーソナル･コンピュータに計量データを送信することができます。

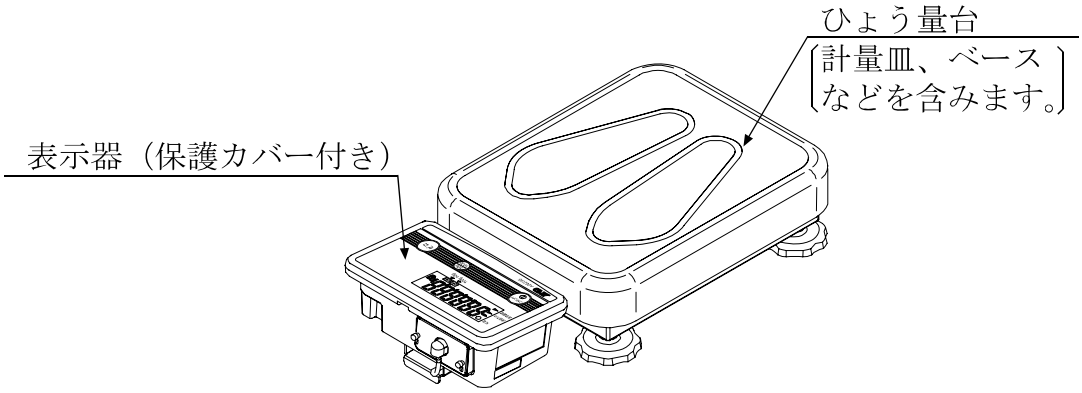
3. 梱包内容

梱包箱を開けた際に、以下のものが入っていることを確認してください。

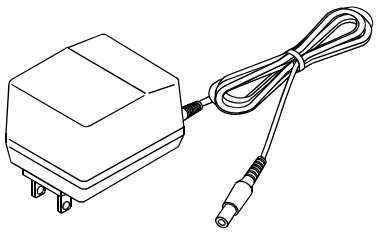
❑ ポール付きモデル（ＡＤ－６２０８Ａ）



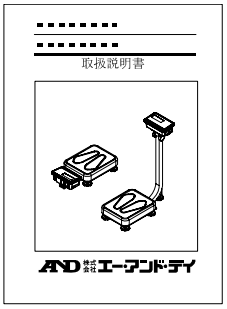
❑ ポールなしモデル（ＡＤ－６２０８Ｂ）



❑ 両モデル共通の付属品



ＡＣアダプタ
ＴＢ１９６

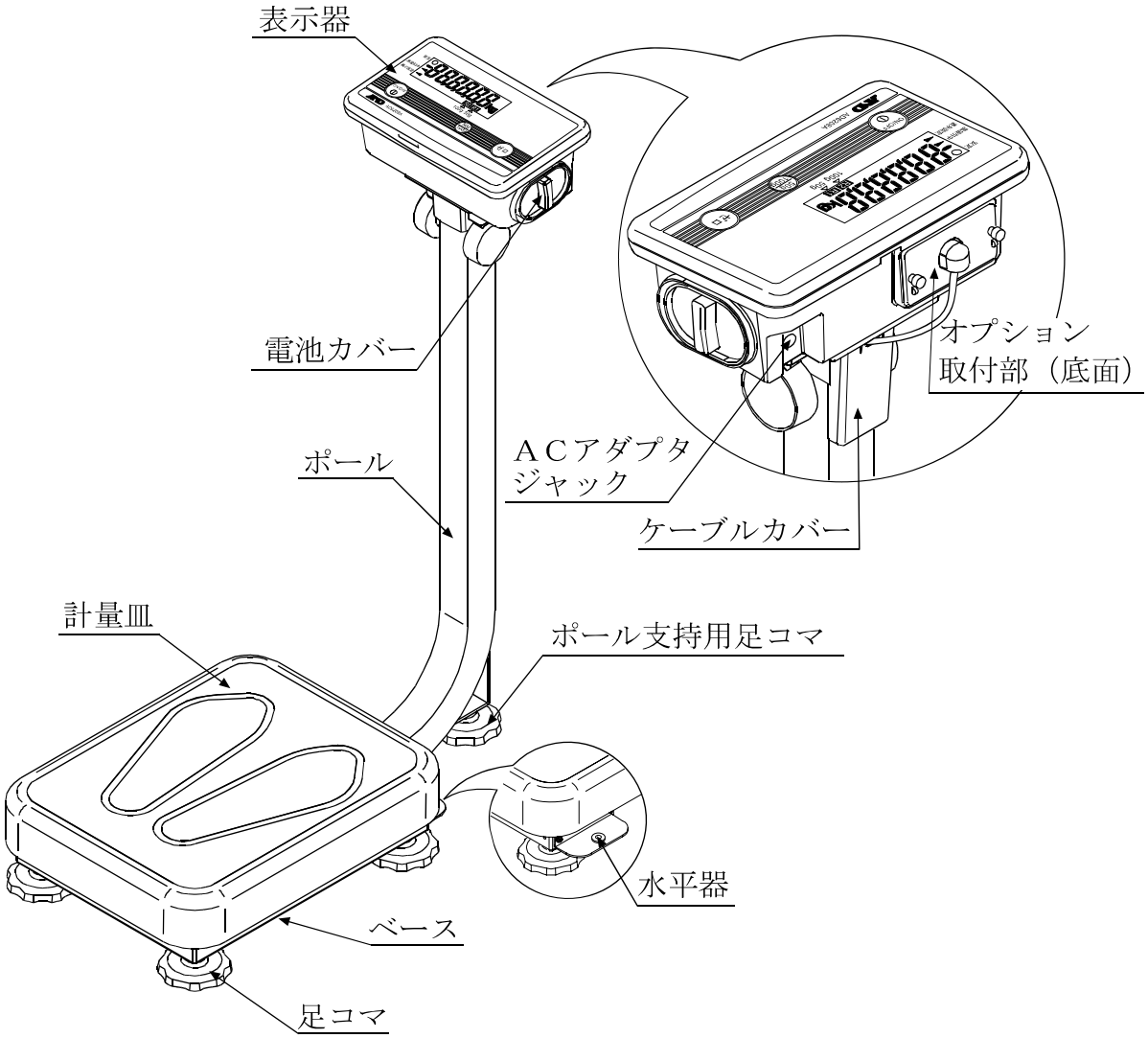


取扱説明書

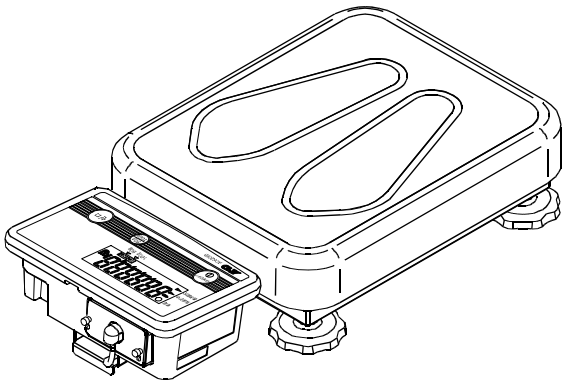
保証書

4. 各部名称

❑ ポール付きモデル（ＡＤ－６２０８Ａ）



❑ ポールなしモデル（ＡＤ－６２０８Ｂ）



5. 組立

それぞれの組立方法を記載致します。

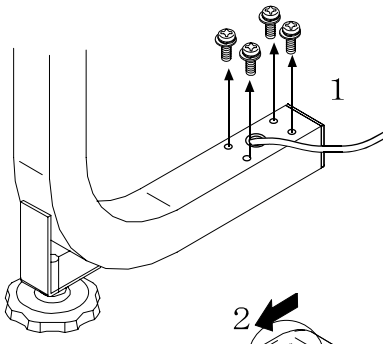
⚠ 注意	本体は重たいので指を挟まないように注意してください。

5-1. ポール付きモデル

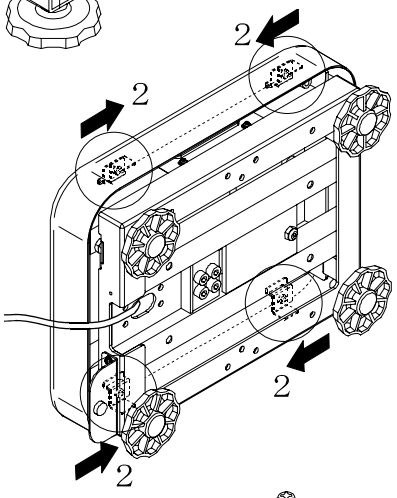
ポール付きモデルは、ご使用前に組立が必要です。組立には、プラスドライバが必要です。

⚠ 注意	・ひょう量台と表示器は、ケーブルでつながれています。ケーブルを引っ張らないように注意してください。 ・組立中にケーブルを挟んだり、傷つけないように注意してください。

1．ポール下部についているネジ４本を一旦外してください。

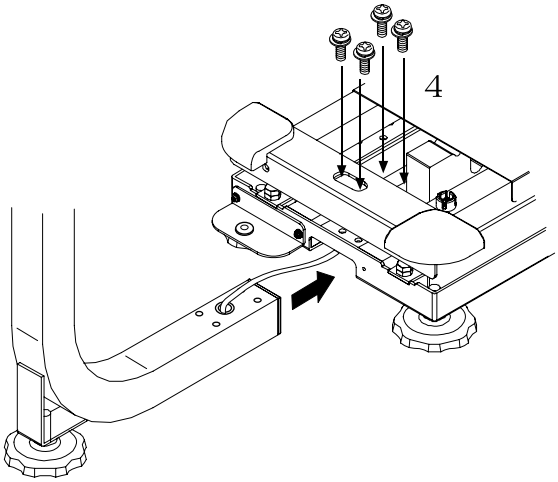


2．ベース底面のネジ４本を緩めてください。
留め金具をずらして計量皿を外してください。

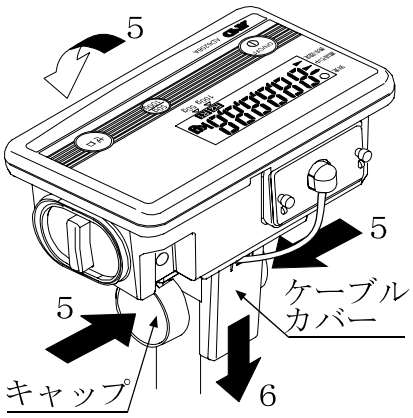


3．ベース内にケーブルを引き出しながら、ポールをベースに取り付けてください。

4．ステップ１で外したネジ４本でポールをしっかり固定してください。

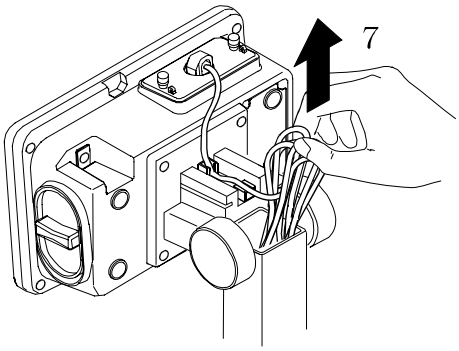


５．表示器下部のキャップを両脇から押えながら表示器を前に倒してください。



６．ケーブルカバーを図の方向にずらして外してください。

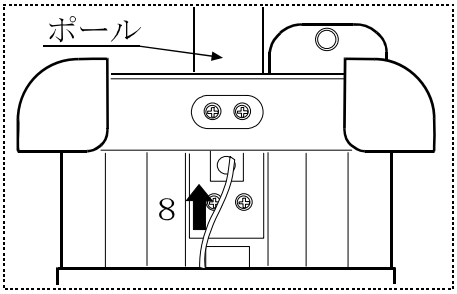
７．ポール上部に収納されているケーブルの束を取り出してください。



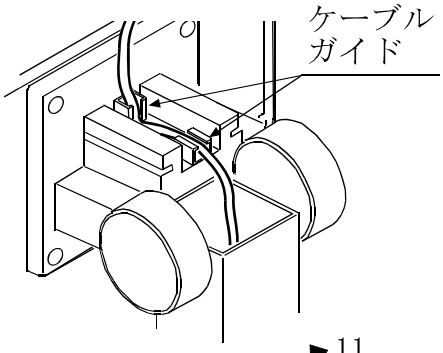
８．ベース内でたるんでいるケーブルをポール内に押し込みながらポール上部からケーブルを引き出してください。

９．ケーブルの束をポール内に戻し、引き出したケーブルもポール内に収納してください。

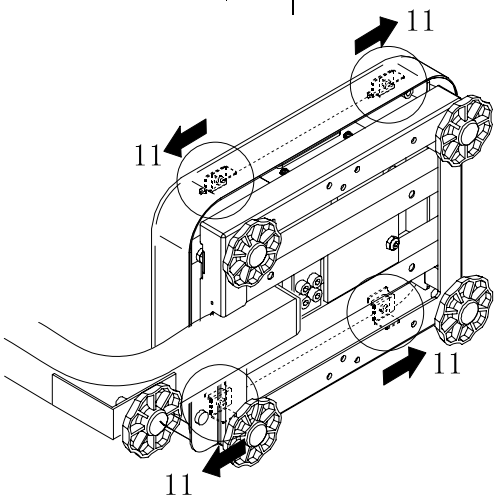
(ベースを上側から見た図)



10．ケーブルが図のようにケーブルガイド２ヵ所に固定されていることを確認して、ケーブルカバーを元のように取り付けてください。

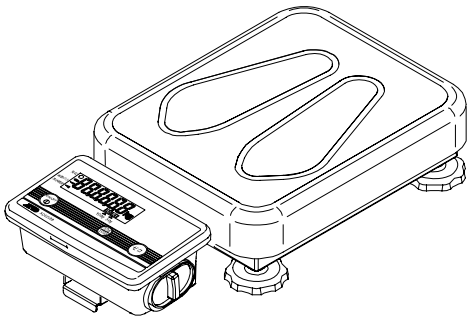


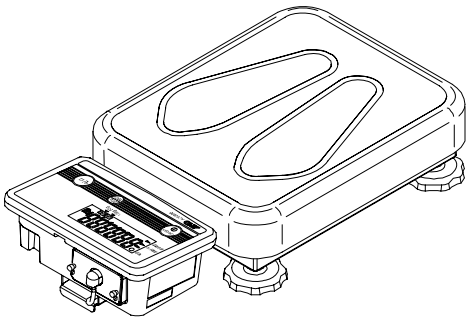
11．計量皿をかぶせ、ステップ２でずらした留め金具を戻し、ネジを締めて固定してください。



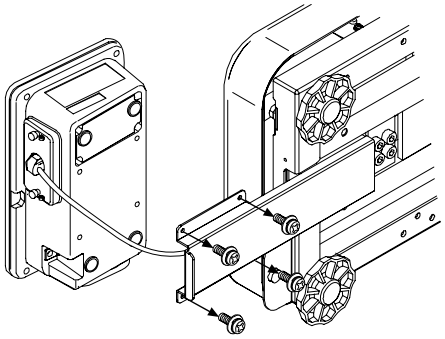
5-2. ポールなしモデル

ポールなしモデルは、表示器の向きを変更することが可能です。また、そのまま表示器を外しテーブルなどの上に置いて使用することも可能です。
変更の際には、プラスドライバが必要です。





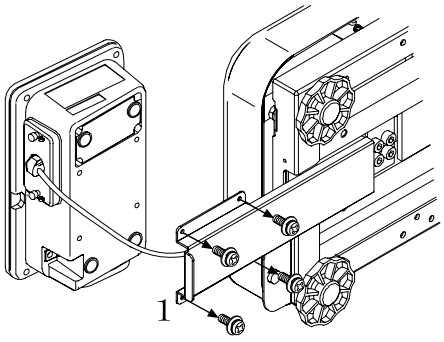
表示器の向きの変更について



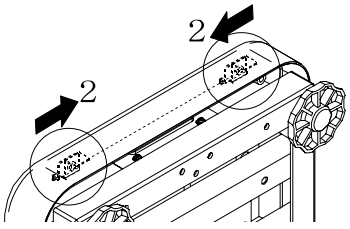
1．表示器をひょう量台に固定しているネジを一旦外してください。

2．表示器の向きを変えて、外したネジで固定してください。

表示器の外し方について



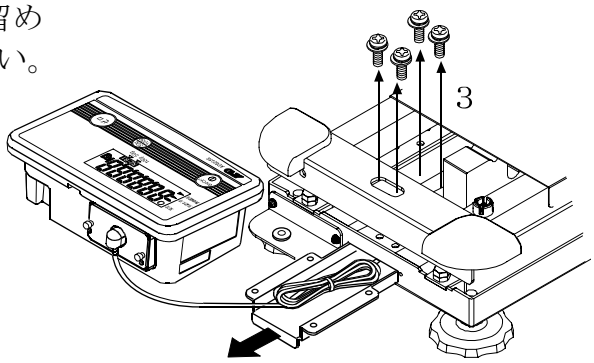
1．表示器をひょう量台に固定しているネジを外してください。



2．ベース底面のネジ４本を緩めてください。
留め金具をずらして計量皿を外してください。

3．金具をベースに固定しているネジを外して、金具をベースから外してください。

4．計量皿をかぶせ、ステップ２でずらした留め金具を戻し、ネジを締めて固定してください。



5．束ねてあるケーブルを外してご使用ください。

6. 使用前の準備

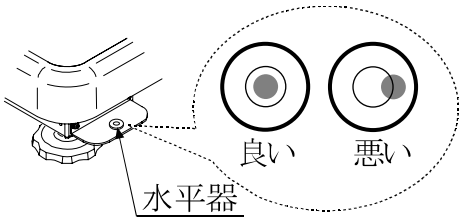
6-1. 設置上の注意

体重計の性能を十分に引き出すために、以下の設置条件を考慮してください。

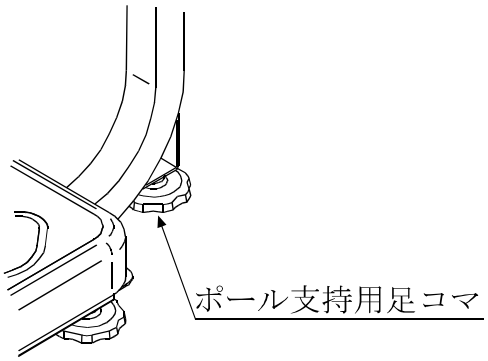
- ❑ 理想的な設置条件は、安定した温度と湿度、堅牢で平らな床面、風や振動のない所、直射日光のあたらない室内、安定した電源などです。
- ❑ 軟らかい床や振動する所には設置しないでください。
- ❑ ヒーターやエア・コンディショナーの前のように、風や温湿度変化の激しい所には設置しないでください。
- ❑ 直射日光のあたる所は避けてください。
- ❑ 腐食性ガス、引火性ガス・蒸気の漂う所には設置しないでください。
- ❑ 強い磁気や電波のある所には設置しないでください。
- ❑ 静電気の発生しやすい所には設置しないでください。湿度が 45% RH 以下になると、プラスチックなどの絶縁物は摩擦などで静電気を帯びやすくなります。
- ❑ AC アダプタを使う場合、不安定な交流電源は誤動作の原因となります。

6-2. 設置

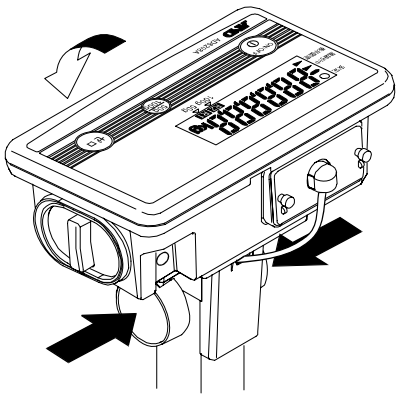
1．ひょう量台の足コマを回して、水平器の気泡が中心にくるように調整してください。



2．ポール付きモデルの場合は、ポール下部に足コマがありますので、最後に設置面に接触するまで回してください。

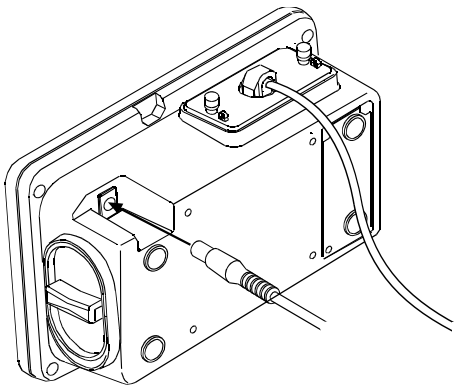


3．ポール付きモデルの場合は、表示器下部のキャップを両脇から押えながら表示器を適当な角度に傾けることができます。



6-3. 電源の準備

ＡＣアダプタを使用する場合

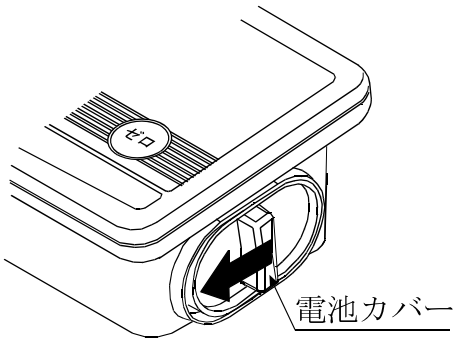


１．付属品のＡＣアダプタを用意してください。

２．ＡＣアダプタの出力プラグを表示器背面のＡＣアダプタジャックに差し込んでください。

⚠注意	専用のＡＣアダプタ以外は使用しないでください。ＡＣアダプタは、付属されています。

電池を使用する場合



１．新しい単２形乾電池（Ｒ１４Ｐ または ＬＲ１４）を４本用意してください。

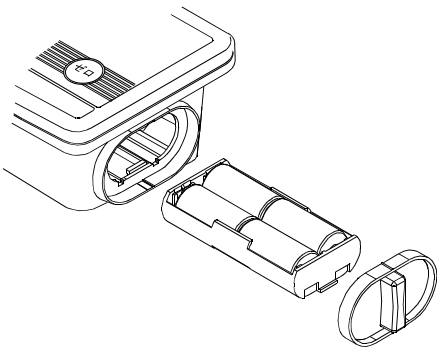
２.電池カバーを右図の方向にずらして外します。

３．内部に収納されている電池ケースを一度押し込んでツメを外し、取り出してください。

４．極性に気をつけて新しい電池を電池ケースにセットしてください。

５．電池ケースを表示部内に戻し、ツメがかかるように押し込んでください。

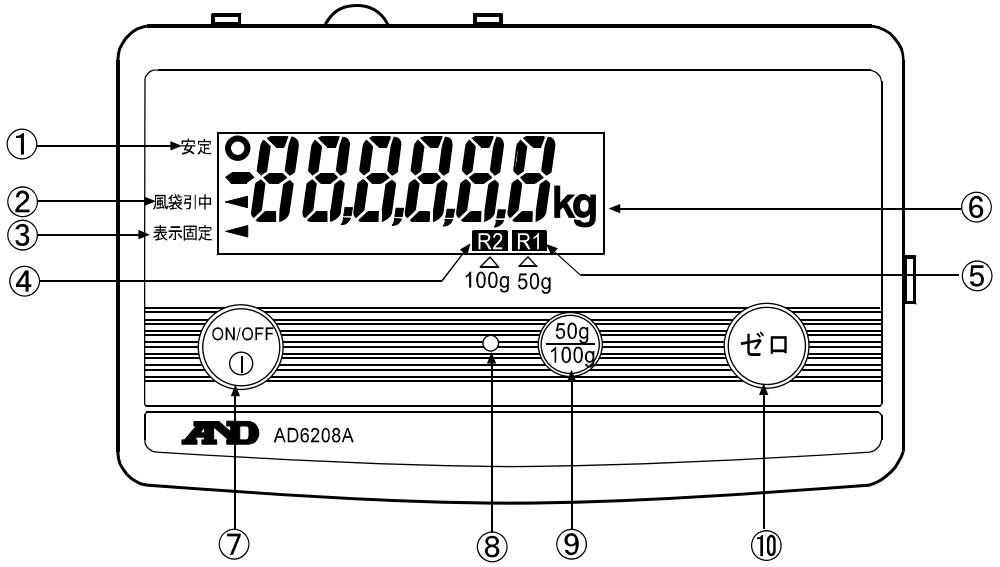
６.電池カバーを元のように取り付けてください。



⚠注意	・電池ケースの表示にしたがって、＋、－を正しくセットしてください。 ・電池を交換する場合は、４本まとめて行ってください。 ・異なった種類の電池を混ぜたりしないでください。 ・長期間使用しない場合、あるいは専用のＡＣアダプタのみで使用する場合は、電池を取り出してください。電池を入れたまま長期間放置すると、液漏れの恐れがあります。電池液漏れによる故障は、保証の対象外となります。

- “Lb0”が表示されたら新しい電池と交換してください。
- アルカリタイプの電池の場合、約１５０時間連続使用ができます。電池寿命は周囲温度によって変わります。

7. 表示器各部の名称と機能



表示・シンボル

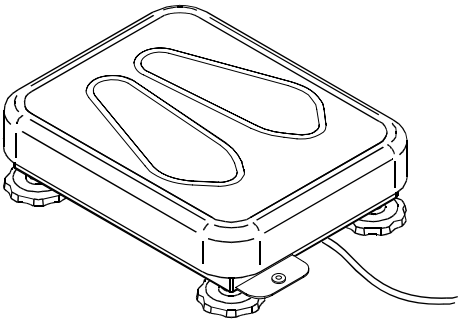
	表示・シンボル	説　明
①	安定 ○	計量値が安定しているとき点灯します。
②	風袋引中 ◄	容器（風袋）の重さが差し引かれているとき点灯します。
③	表示固定 ◄	体重値が確定した後、固定表示しているときに点灯します。
④	R2	最小表示が１００ｇのときに点灯します。
⑤	R1	最小表示が５０ｇのときに点灯します。
⑥	kg	計量単位“kg” が点灯します。

操作スイッチ

	スイッチ	説　明
⑦	ON/OFF	電源をオン／オフします。電源をオンしたときは、自動的にゼロを取ります。（パワーオンゼロ機能）
⑧	○	体重計の内部設定を変更する際に使用します。
⑨	50g/100g	スイッチを押すたびに最小表示単位が ５０ｇ または １００ｇ に切り替わります。
⑩	ゼロ	表示をゼロにすることができます。

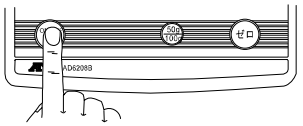
8. 使用方法

1．体重計の上に何も乗せないようにします。

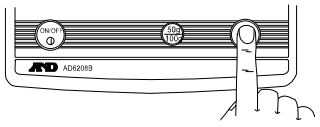


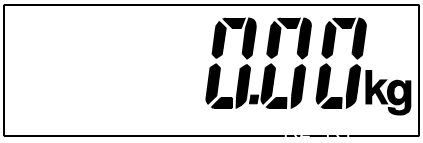
注意：電源を入れたとき体重計の上に何か乗っていると **ゼロ** スイッチが機能しないことがありますが故障ではありません。

2．ON/OFF スイッチを押して電源を入れます。表示チェックが始まります。



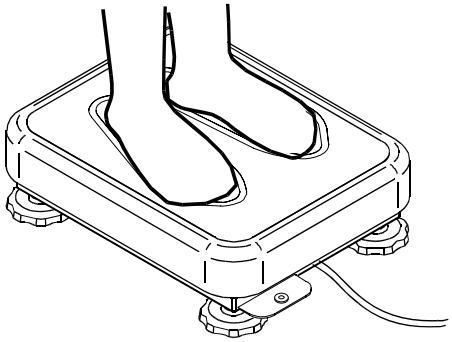
3．表示値がゼロになるよう **ゼロ** スイッチを押してください。
（ **ゼロ** スイッチは、風袋スイッチとしても機能します。）





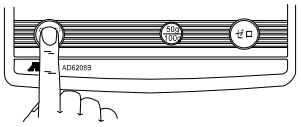
4．体重計の足マークの位置に乗ってください。
安定マークが表示され、体重が読み取れます。

注意：測定中は体を動かさないでください。
測定誤差の原因になります。



5．はかり終わったら体重計から降りてください。

6．必要に応じて、手順３～５を繰り返してください。



7．電源を切りたいときは、ON/OFF スイッチを押し表示を消してください。

各機能の説明

❑ **ゼロ** スイッチは計量値が安定しているとき働きます。

❑ ゼロ動作

電源オン時に取られたゼロ点（パワーオンゼロ）を基準として、計量値が約±３．６ｋｇ以内にあるとき **ゼロ** スイッチを押しますと、その点をゼロ点に設定します。このとき、表示がゼロになります。

❑ 最小表示（目量）切替

計量皿の上に何もない状態で 50g/100g スイッチを押すことにより、最小表示（目量）を切り替えることができます。この時、ゼロ動作を自動に行い、さらに風袋引きはクリアされます。

❑ 風袋引き

計量値が 約＋３．６ｋｇ を越えている場合、**ゼロ** スイッチは計量皿上の重さを容器（風袋）の重さとして差し引きます。表示値はゼロとなり、風袋引中マーク◀ が点灯します。

❑ 風袋引き動作の停止

容器（風袋）を取り除き **ゼロ** スイッチを押すことにより、風袋引きはクリアされ風袋引中マーク◀ は消えます。

❑ 表示固定

４ｋｇを越えて安定マークが点灯した場合、体重計を降りても表示値が固定されます。一度、４ｋｇ以下になれば表示時固定中でも次の計測ができます。“9-2. 内部設定一覧”を参照し、“F 10”を設定してください。出荷時は、表示固定の時間は１０秒間に設定されています。

❑ 表示固定の解除

・表示固定中に±３ｋｇを超える変動がありますと、設定されている表示時間経過後に表示固定は解除されます。

・表示固定中に **ゼロ** スイッチを押すことにより、即座に表示固定は解除されます。計量値が安定状態ならば、ゼロ動作 または 風袋引き動作を行います。安定状態でなければ、表示固定の解除のみ行います。

・表示固定が解除された場合、４ｋｇを超えていても再度の表示固定はされません。一度、４ｋｇ以下にすることにより表示固定が可能となります。

❑ オートパワーオフ機能

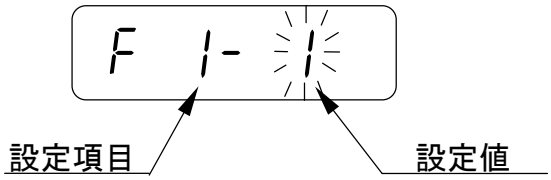
ゼロ表示が約５分間続くと自動的に電源の切れるオートパワーオフ機能があります。“9-2. 内部設定一覧”を参照し、“F 1-1”または“F 1-2”と設定してください。出荷時は、電池使用時のみオートパワーオフ機能が働くようになっています。

操作上の注意

- ❑ 鉛筆のような先のとがったものでスイッチを押さないでください。
- ❑ 衝撃的な荷重やひょう量を超えた荷重を加えないでください。
- ❑ 体重計内部に異物が入らないようにしてください。
- ❑ 計量値が安定しない場合、“------”が表示されます。何か計量皿に触れていないか、強い風や振動がないかなど確認してください。原因がわかりましたらそれを取り除いてください。
- ❑ パワーオンゼロの働く範囲は、キャリブレーション時のゼロ点を中心に、±１５ｋｇ以内です。この範囲を超えるようなものを計量皿にのせたまま電源を入れた場合も、“------”が表示されます。のせたものを降ろしてください。
- ❑ 風袋引き動作の場合、実際に計量するものと合わせてひょう量（１５０ｋｇまたは２００ｋｇ）以内でお使いください。

9. 内部設定

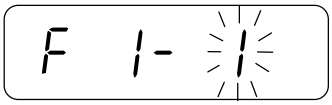
内部設定は、体重計の動作方法を指定する項目を閲覧したり変更したりする機能です。各項目の内部設定の値は、電源を切っても記憶されています。



9-1. 設定方法

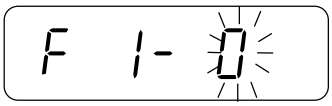
1．電源オフにします。

2．[ゼロ] スイッチを押しながら[ON/OFF] スイッチを押して電源をオンすると、最初の設定項目が表示されます。



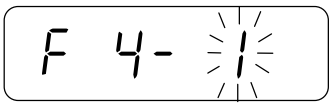
3．[・] スイッチを使って設定値を変更します。

- ❑ 設定値を変更する必要がなければ何もせずに次に進みます。



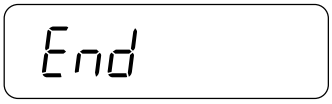
4．[50g/100g] スイッチを押すと、次の設定項目の表示となります。

- ❑ この段階では、新しい設定値は記憶されていません。
- ❑ 設定変更を中止する場合は、電源を切ってください。



5．最後の設定項目までステップ３と４を繰り返します。

6．最後の項目を設定し [50g/100g] スイッチを押すと、[End] 表示になります。



7．もう一度 [50g/100g] スイッチを押してください。各設定値が内部に記憶され、体重計は自動的に再スタート（電源オン）します。

- ❑ 本ステップ７を行わないと、設定値は変更されません。

9-2. 内部設定一覧

設定項目	設定値	内容・用途	
オートパワーオフ機能	F 1- 0	オートパワーオフ機能停止	自動的に電源を切る機能
	◆ F 1- 1	電池使用時にオートパワーオフ機能働く	
	F 1- 2	電池、AC アダプタどちらでもオートパワーオフが働く	
	F 2-	項目F 2- はありません	－
	F 3-	項目F 3- はありません	－
RS-232C ボーレート	◆ F 4- 0	2400 bps	－
	F 4- 1	4800 bps	
	F 4- 2	9600 bps	
RS-232C 出力モード	◆ F 5- 0	ストリームモード	－
	F 5- 1	コマンドモード	
	F 5- 2	項目F 5- 2 はありません	
	F 5- 3	オートプリント ＋／－ データ出力	
	F 5- 4	オートプリント ＋ データ出力	
	F 6-	項目F 6- はありません	－
	F 7-	項目F 7- はありません	－
RS-232C 通信フォーマット	◆ F 8- 0	コマンドに対する応答あり	外部コマンドに対する応答
	F 8- 1	“Q”コマンドを除いて応答なし	
	F 9-	項目F 9- はありません	－
表示固定	F10- 0	表示固定しません	－
	F10- 1	5 秒間	
	◆ F10- 2	10 秒間	
	F10- 3	15 秒間	
	F10- 4	20 秒間	
	F10- 5	25 秒間	
	F10- 6	30 秒間	

◆ は、出荷時設定を表します。

10. オプション

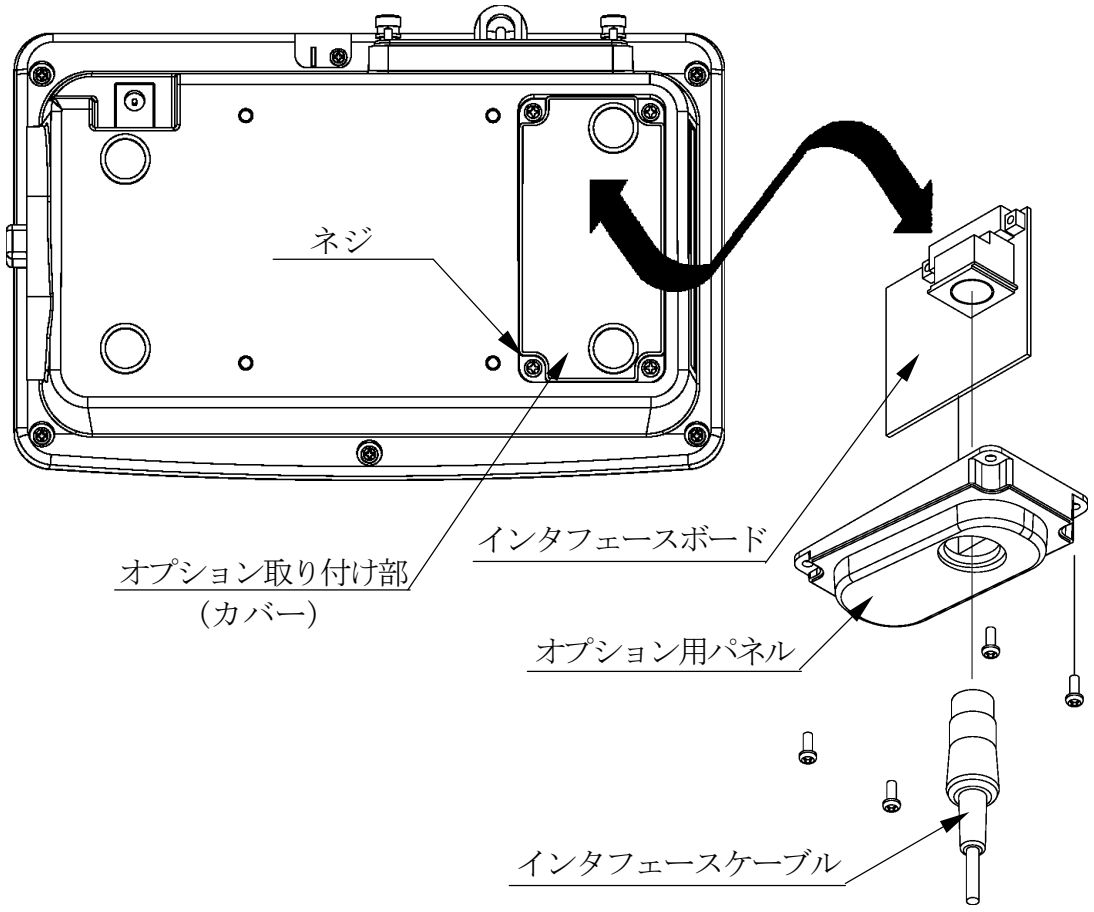
AD-6208 シリーズには以下のオプションが用意されています。

- ❑ FG-23　　RS-232C インタフェース

10-1. FG-23 の取り付け方法

FG-23 は、インタフェースボード、オプション用パネル、DIN コネクタ（8 ピン）各 1 個で構成されます。
オプション用パネル、DIN コネクタは、両方のオプションに共通です。
オプションを体重計に取り付ける前に、付属の DIN コネクタを使ってインタフェースケーブルを用意してください。別売の RS-232C ケーブルを使うこともできます（“10-2. FG-23 RS-232C インタフェース”参照）。

１．体重計から、AC アダプタを抜いてください。
２．オプション取り付け部のカバーを止めている 4 本のネジを緩め、カバーを外します。
３．用意したインタフェースケーブルの DIN コネクタ側をオプション用パネルの穴に通した後、インタフェースボードのコネクタに接続します。
４．インタフェースボードを表示部内部のコネクタに接続します。
５．オプション用パネルをステップ 2 で外したネジ 4 本で表示部に固定します。

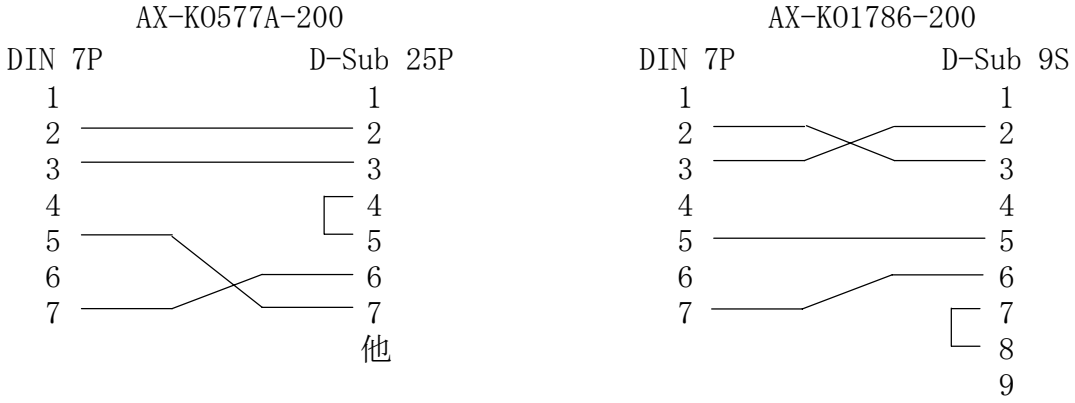


10-2. FG-23 RS-232C インタフェース

RS-232C インタフェースを使うと、AD-6208 シリーズをコンパクトプリンタ AD-8121 やパーソナル･コンピュータに接続することができます。

- RS-232C 出力モードには、ストリームモード／コマンドモード／オートプリントの３通りがあります（詳細は“データ出力モード”を参照してください)。
- 使い方に応じて内部設定“F4”、“F5”および“F8”を設定してください。
- FG-23 の付属品には、インタフェースケーブル作成に使える 8 ピンの DIN コネクタ（JA+TCP0586）があります。
- パーソナル・コンピュータ用には、以下の別売のケーブルもあります。

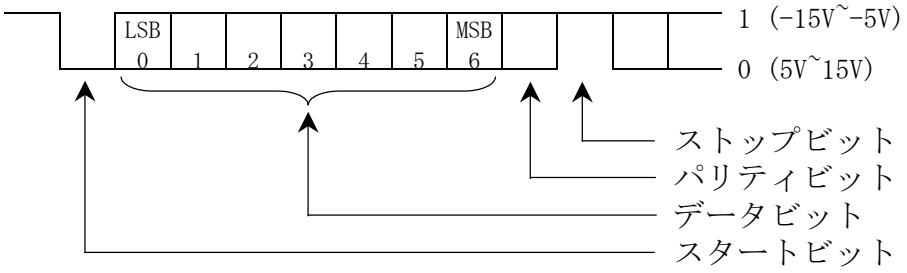
AX-KO577A-200	FG と D-Sub 25 ピンのコンピュータを接続、長さ 2m
AX-KO1786-200	FG と D-Sub 9 ピンのコンピュータを接続、長さ 2m



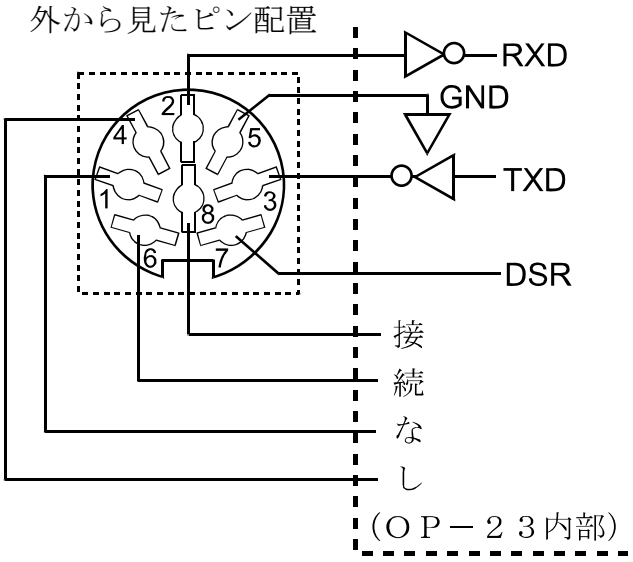
- FG-23 は 8 ピンの DIN コネクタですが､上記 7 ピンの DIN コネクタを接続することができます。

インタフェース仕様

入出力規格	EIA RS-232C 準拠
伝送形式	調歩同期式（非同期)、双方向、半二重伝送
信号形式	ボーレート: 1200, 2400, 4800, 9600 bps
	データビット: 7 ビット+パリティ 1 ビット（even)
	スタートビット: 1 ビット
	ストップビット: 1 ビット
	使用コード: ACII
	ターミネータ: C_RL_F (C_R: 0Dh、L_F: 0Ah)



ピン接続



適合コネクタ:
DIN8 ピン(JA+TCP058)
(OP-23 付属品)

データフォーマット

S	T	,	+	0	0	0	0	0	.	0	0	_	k	g	C_R	L_F

ヘッダ　データ　単位　ターミネータ

("_" はスペースを表す)

- ヘッダには以下の 3 種類があります:
  ST ： 重量測定でデータが安定している
  US ： データが安定していない
  OL ： データがオーバしている（計量範囲を超えている）
- データは符号、小数点を含め常に 9 桁です。
- 単位は、常に _ k g が出力されます。
- ターミネータは常に C_RL_F が出力されます。
- 出力データの例:

重量データ

S	T	,	+	0	0	1	2	3	.	4	5	_	k	g	C_R	L_F

重量オーバ(+)

0	L	,	+	9	9	9	9	9	.	9	9	_	k	g	C_R	L_F

データ出力モード

❑ ストリームモード　　内部設定“FS-0”

表示値を、表示書き換えに同期して常時出力します。表示書き換えは、1 秒に約 10 回です。なお、各種設定状態では出力は行いません。

❑ オートプリント ＋／－ データ　　内部設定“FS-3”

計量値が安定し（安定マーク点灯）、その値が+4d を超えるか、または、-4d より小さいときデータを出力します。次の出力は、表示が-4d 以上+4d 以下に戻ってからになります。

d = 重量表示の最小表示（“12-1. 仕様一覧”参照）

❑ オートプリント + データ　　内部設定“FS-4”

計量値が安定し（安定マーク点灯）、その値が+4d を超えているときデータを出力します。次の出力は、表示が+4d 以下に戻ってからになります。

d = 重量表示の最小表示（“12-1. 仕様一覧”参照）

❑ **コマンドモード**　　内部設定“F5-1”

コマンドモードでは、外部のパーソナル・コンピュータなどから送信されるコマンドによって体重計は制御されます。

コマンド一覧

“Q”コマンド　現在の計量データを要求するコマンドです。

コマンド

Q	C_R	L_F

応答例

S	T	,	+	0	0	1	2	3	.	4	5	_	k	g	C_R	L_F

“Z”コマンド　ゼロ　スイッチと同じ動作をします。

コマンド

Z	C_R	L_F

コマンドに対する応答

内部設定“F8-0”が設定されていると、体重計は受け取ったコマンドに対し以下のように応答します。

❑ “Q”コマンドに対しては、体重計は計量データを送信します。

❑ “Z”コマンドに対しては、体重計はコマンド実行後同じコードを返信します。

応答例

Z	C_R	L_F

体重計が不安定な状態であるなどの原因で、コマンドを実行できなかった場合、“I”（アイ）が返信されます。

応答例

I	C_R	L_F

❑ 受信したコマンドが扱えないものだった場合、体重計は“?”を返信します。

応答例

?	C_R	L_F

❑ 内部設定“F8-1”が設定されているときは、“Q”コマンドを除いて応答はありません。

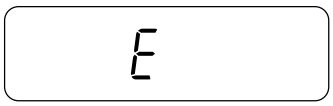
11. 保守管理

11-1. 保守上の注意

- ❑ 本器を分解しないでください。
- ❑ 輸送の際は専用の梱包箱をご使用ください。
- ❑ 汚れたときは中性洗剤を少ししみこませた柔らかい布で拭き取ってください。有機溶剤は使わないでください。
- ❑ 定期的に正しく計量できることを確認してください。

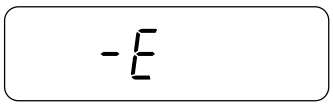
11-2. エラー表示

荷重超過エラー



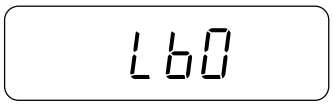
計量値がひょう量を超えたときに出るエラーです。
計量皿の上のものを取り除いてください。

レンジ超過エラー



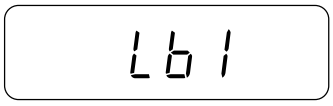
重量センサが上方向に強い力を受けたときに出るエラーです。計量皿が何かに引っかかっていないか、ベース部に異物が入り込んでいないかなど確認してください。重量センサ、あるいは内部回路が故障している可能性もあります。

ローバッテリ



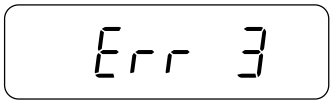
電池が消耗し電圧が下がったときに表示されます。新しい電池と交換してください。

電源電圧不足



AC アダプタ使用時、電源の電圧が低すぎるときに表示されます。周囲の配線状況など確認してください。

メモリ書き込みエラー



内部設定変更などでメモリへの書き込みを行ったとき、正常に記憶できなかったときに表示されます。一度電源を切り、もう一度同じことを試してください。それでも表示されるときは、メモリ関係の故障が考えられます。

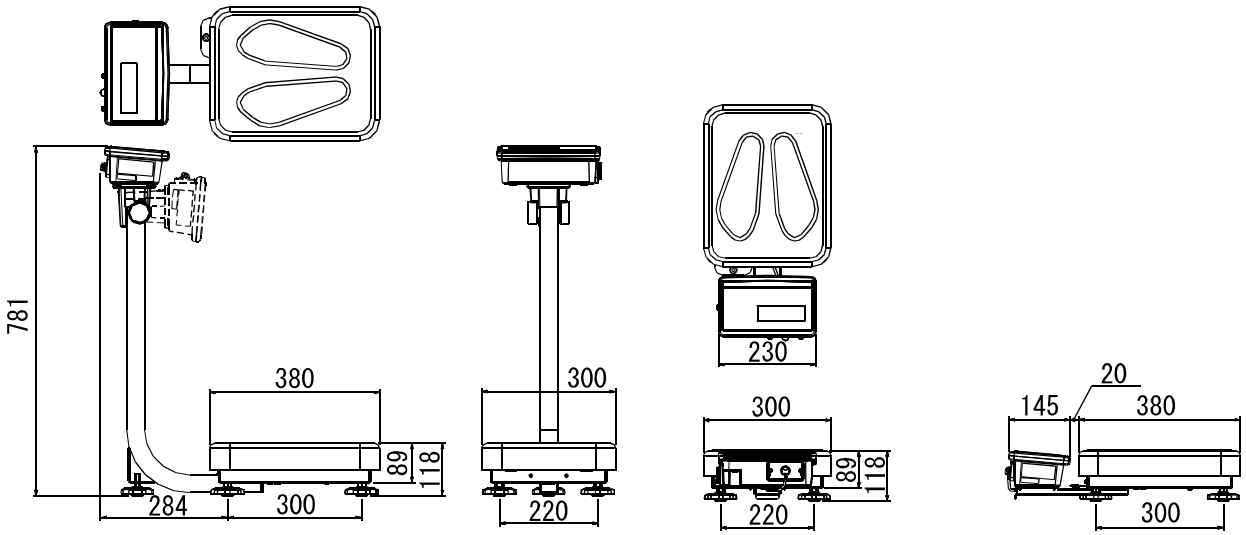
上記のエラーが解消できないとき、これ以外のエラー表示のときは、最寄りの販売店へご連絡ください。

12. 仕様

12-1. 仕様一覧

型　　式	ＡＤ－６２０８Ａ（ポール付き） ＡＤ－６２０８Ｂ（ポールなし）	
レンジマーク (50g/100g 手動切替に連動)	Ｒ１	Ｒ２
ひょう量	１５０ｋｇ	２００ｋｇ
目量（最小表示″d″）	５０ｇ	１００ｇ
最小測定量	１ｋｇ	２ｋｇ
精度等級	３級	
最大風袋引き量	ひょう量まで	
表示方法液晶表示	文字高さ２６ｍｍ、７セグメント	
使用温湿度範囲	－１０℃～＋４０℃、８５％ＲＨ以下 （但し、結露しないこと）	
電　　源	ＡＣアダプタ（ＴＢ１９６）：ＡＣ１００Ｖ ５０／６０Ｈｚ ３ＶＡ　または　単2形乾電池４本	
乾電池寿命	アルカリ乾電池使用時約１５０時間	
計量皿寸法	３００ｍｍ×３８０ｍｍ	
重　　量	ＡＤ－６２０８Ａ：約１２ｋｇ ＡＤ－６２０８Ｂ：約１０ｋｇ	

12-2. 外形寸法



AD-6208A　　AD-6208B

単位 mm

重力加速度の大きさの範囲

本体重計は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。
２箇所に記載されている県は、どちらの重量加速度の範囲でも使用できます。
例えば、埼玉県の場合 「9.796～9.801 m/s^2」または「9.794～9.799 m/s^2」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	使用地域(都道府県)
9.803～9.807 m/s^2	北海道
9.799～9.804 m/s^2	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
9.796～9.801 m/s^2	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都(八丈・小笠原支庁を除く)、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
9.794～9.799 m/s^2	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都(全域)、神奈川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県(薩摩地方に限る)
9.789～9.794 m/s^2	鹿児島県(薩摩地方を除く)、沖縄県

MEMO

MEMO

MEMO